

本づくりのアイワードで 社史・記念誌を 作りませんか

建設業関係の皆さま向け

無料

社史・記念誌の作り方動画セミナー
のごあんない

社史・記念誌づくりの有効性

- 1 共感や信頼を醸成し、
企業価値を高めていきます。
- 2 自社が求める人財との
絆が育まれます。
- 3 新たな市場を拓ける
プロセスを構築できます。



株式会社アイワード

社史・記念誌づくりのこんな疑問に、お答えします。

社史・記念誌の編集作業は面倒？

建設業全般に精通したプロ編集記者が、企画段階から編集の細部にわたってサポートします。

会社で過去の資料が残っていても、社内報や経営トップの年頭挨拶などを基にして通史を文章化することができます。

また、創業者や歴代の経営幹部への取材を通してオーラルヒストリー（口述記録）で企業の沿革を組み立てていくことも可能です。

社史・記念誌の制作費用は高い？

社史・記念誌の制作費はページ数や印刷部数だけでなく、布クロス貼りの上製本に函入れの重厚なタイプから、表紙がソフトな並製本タイプまで様々なバリエーションがあります。

豊富なノウハウを持つアイワードがご予算に合わせたご提案をします。

例えば、A4判、200ページ、オールカラー、ソフト表紙の作成では、資料整理や創業者取材などを行って500冊で300万円からの実績例があります。

これからの社史・記念誌のスタイルは？

トレンド1

社内編集委員会の負担を軽減

働き方改革に対応し、日常業務に負担をかけない外部委託方式が主流になってきています。

トレンド2

文章主体よりもビジュアル重視

写真や図・イラストを多用した「目で見える記念誌」がトレンドになっています。

トレンド3

座談会は回顧型から未来志向型へ

創業者やOB幹部による思い出の語りよりも、社長と若手社員で構成する未来志向型が人気です。

トレンド4

多メディアへ活用で経営に貢献

本づくりで整理した文章や写真などを二次利用して、式典用パンフレット・採用向け動画の制作やSNS・ホームページなどを活用した情報発信等のお手伝いを行っています。

建設業関係の皆さまへ

社史・記念誌発刊のメリット

働く人々のモチベーション向上につながります



災害対応を通して地域の安心・安全を守ってきた自社の歴史を知ることで、社員が自分の仕事に誇りを持つことができます。

新規採用のツールとして活用できます



社史・記念誌を読み、写真を見てもらうことで、若者に自社の魅力や働きがい伝えられます。

歴史を振り返り、創業精神を記録します



歴史を拓いてきた創業者や先達の方々から貴重な記憶と資料を収集し、次の世代に継承します。





期間限定 無料動画セミナー

下記の期間中は、どの時間帯でもユーチューブで視聴いただけます。

ユーチューブ『アイワードチャンネル』

https://www.youtube.com/channel/UCCd9do_9MJGFXgozkGbF8Pw



第1回セミナー

9月6日(月)▶17日(金)

社史づくりの基本

お話：編集コーディネーター

荒木正芳

荒木コンサルティングオフィス
代表

第2回セミナー

9月21日(火)▶10月1日(金)

社史づくりのアドバイス

お話：編集コーディネーター

矢部育夫

株式会社きたリンク
代表取締役

第3回セミナー

10月4日(月)▶15日(金)

これからの社史づくり を考える

対談：荒木正芳

矢部育夫

無料動画セミナー主催会社



株式会社アイワード

<https://iword.co.jp>

本社

〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5番地91

TEL 011-241-9341 FAX 011-207-6178

東京営業部

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目4番3号 高岡ビル6階

TEL 03-3239-3939 FAX 03-3239-3945



本社



東京営業部



石狩工場

会社概要

社名 株式会社 アイワード

代表者 代表取締役社長 奥山 敏康

業務内容 ブック印刷事業／情報処理・システム開発事業／
褪色写真復元事業／年賀状事業

創業 1965(昭和40)年 9月

設立 1966(昭和41)年 10月

資本金 67,185 千円

従業員数 役員7名、正社員206名、契約社員29名、嘱託8名
(2021年3月31日現在)

商況 年商37億1,965万円(2021年3月期)

編集コーディネーター



荒木コンサルティングオフィス

代表

荒木 正芳

北海道の建設専門紙に40年間在籍した後、令和2年6月に独立し、地域建設業向けの人材育成・広報サポートのコンサルティング活動を展開。建設業に対する深い造詣と幅広い人脈を生かし、社史や記念誌づくりを多数手掛けるほか、建設トップランナー倶楽部の幹事として全国各地の先進的な建設企業の取り組みにも精通している。



株式会社きたリンク

代表取締役

矢部 育夫

北海道の建設専門紙で取材記者および企業や団体の記念冊子編集を担当した後、令和2年7月に建設産業の電子メディア・きたリンクを立ち上げる。現在、道内外の建設業や測量コンサル業の顧客に対して、行政や業界の話題やデータなどを提供。顧客の設立記念誌編集やリクルート支援事業なども手がけている。